

HAPPY ENGINEER

になるために

ソフトウェア研究会IN秋葉原

池田公平

2017/12/8

自己紹介

- 名前 池田公平 ペンネーム 五代響
- 年齢 29歳と310ヶ月
- 職業 ソフトウェアエンジニア (C++とアセンブラが大好き)
 - 副業 会社社長、コンサルタント、 GAME MUSIC コンポーサ
- 略歴
 - 1977年ごろ、マイクロコンピューターと出会う
 - 1980年ごろ、（株）アスキーでPC6001やMSX用のゲームを製作
 - 1984年、（株）ゲームアーツ設立。テグザー・シルフィードなどを手掛ける
 - 1989年、（有）テクニカルアーツ設立。
 - 2003年、ソフトウェア研究会発足
- 好きな事 オートバイレース、スキー、ワイン、写真、鉄道、テニス

ご注意

本編は、池田の経験に基づく内容で、
池田本人が老害と戦いながら
得た事柄をまとめたものです。
したがって、同世代のエンジニアに
必ずしも当てはまる内容ではございません。

HAPPY-2

鎧を脱ぎ捨てよう

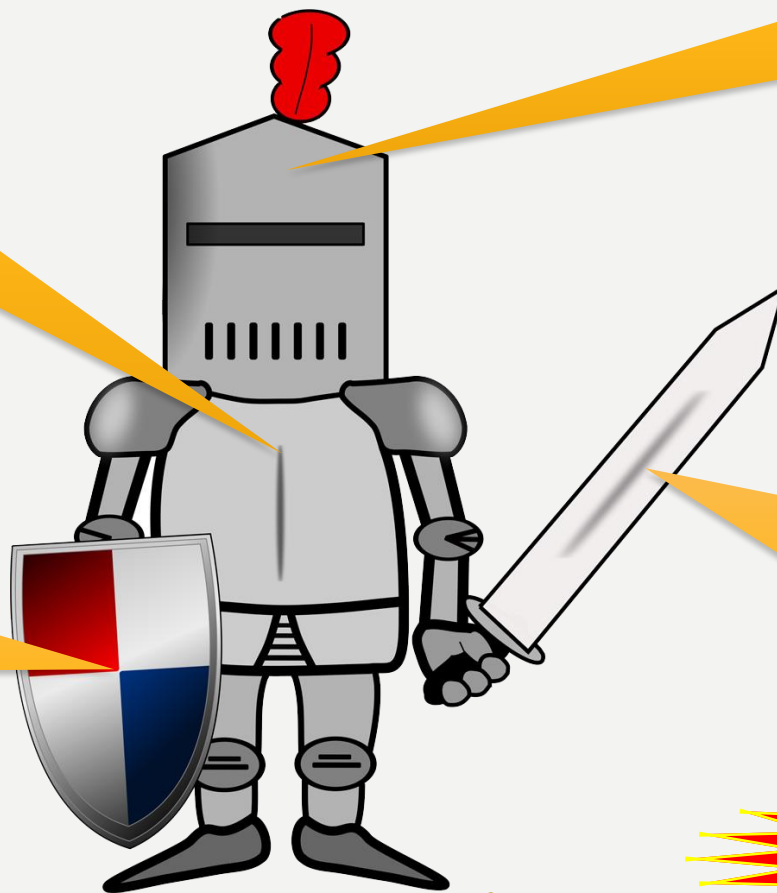
老害エンジニア

過去の自分と部下を比較し、部下の努力を認めない。「俺の若いころは」とすぐに自慢話をする。

上から目線

新しい技術を断固ブロック。いにしえの戦法を自分だけでなく部下にも強要する。

強すぎるこだわり



石よりも堅い頭で部下の意見にまったく耳を貸さない

思考の硬直

スカイツリーよりも高いプライドで、何でも切れる剣を持っていると信じている。

高すぎるプライド

歴戦の勇士

諸悪の根源は、思考の硬直

- 年を重ねると、どうしても視野が狭くなります。
 - 思考パターンが「だろう」に傾向していき、大事な事を見落としてしまいます。
- 豊富な知識と経験が、いつしか思考を硬直化させてしまいます。
 - 自身の知識や経験を過信することなく、物事の判断や見極めを正確に行うことが大事です。
- ソフトウェアエンジニアにとって、古い知識や常識がまったく役に立たない事は珍しくありません。
 - 3年以上古い知識は、「まったく役に立たない」と考えて、つねに最新の情報でオーバーライドするよ心がけたいです。

役に立たないものの御三家

1. こだわり
2. プライド
3. 古い知識

鎧を脱ぎ捨てて身軽になろう

- 「こだわり」「プライド」「古い知識」という鎧を脱ぎ捨てて、フレッシュで柔軟な思考を取り戻しましょう。
 - 身軽な思考で若返りましょう
- 年を取ったら、自分の思考や行動に対し「これで本当に良いのか？」という疑問を常に投げかける事が大事です。
 - 自分を過信しないようにしましょう
- ソフトウェアエンジニアにとって、過去の栄光は何の役にも立たないと認識してください。せいぜい、人と知り合うキッカケになる程度です。
 - 大事なのは過去ではなく現在と未来です。
- こだわりを捨て、新鮮な目線で物事を見つめ、人の言葉に常に耳を貸すこと。これが老害エンジニアから脱却する第一歩です。

必要なのは師弟関係ではなく対等な関係

- 日々進歩する技術を習得するのに、年齢や経験は無関係です。
- 若者も老人も、同じスタートラインに立っていると考えましょう。
 - 同時に学ぶと、若者と同じ速さで学ぶことの難しさに気づくでしょう。
- 経験の浅いエンジニアに対しても、その人なりの努力や知識をリスペクトしましょう。
- 上司と部下という立場は、責任や給料の違いであり、エンジニアとしては対等であると心がけたいです。

ご清聴ありがとうございました。

※このスライドの内容を実践して引き起こされた結果につきましては、当方は一切の責任を負いませんのであしからずご了承ください。

次回予告

HAPPY-Episode3
ダークサイドエンジニア
怒りを乗り越えよ

ソフトウェア研究会in秋葉原
有限会社テクニカルアーツ代表
池田公平

メモ

- 老害エンジニアの典型
- 知識と経験がもたらすもの
- エンジニアの上下関係
- こだわりの災い
- 縛りプレイ
- 一本の道筋
- 「なんで」という問いに答えはない
- 古い技術と新しい技術
- 老害エンジニアの撃退方法
- 思考停止
- 視野を広げる